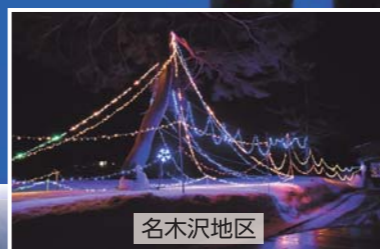


毎年雪まつりシーズンに合わせて、各地区で行われているイルミネーションの飾り付け。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年は雪まつりが中止になってしまいました。地域を元気で元氣付けようと、9つの地区でイルミネーションや雪灯ろうが灯されました。

地区独自のキャラクターややかかし、広場など、利用した巨大雪像など、各地区がそれぞれのアイディアで趣向を凝らしているのも面白いところ。イルミネーションだけでなく、地域の人々の集いの場として楽しんでいるのも特徴。雪深い地域を照らすあかりに地区民の心もあたたまる、そんな取り組みが市内各地に広がっています。



(丹生第2地区イルミネーション)



名木沢地区



西原地区



中刈地区



毒沢地区



丹生第3地区



行沢地区



関谷地区



荒町地区

(荒町地区の雪灯ろう)

# 市報 おばなざわ

市報

雪とスイカと花笠のまち



## 目次

- 2…尾崎光輔選手北京冬季オリンピック出場激励会・結果報告
- 3…今冬の豪雪の記録
- 4…尾花沢市小中学校のありかたに関する基本方針決定
- 6…尾花沢市・大石田町合同クリスマス企画「近くて“おいしい”お店物語」
- 8…みんなのページ / 10…お知らせ / 12…おばなざわ事典

NEW

令和4年  
3月  
No.847

### 市の人口と世帯

	3月1日 現在	前月比
男	7,315人	(-19)
女	7,533人	(-13)
計	14,848人	(-32)
世帯数	5,302戸	(-11)

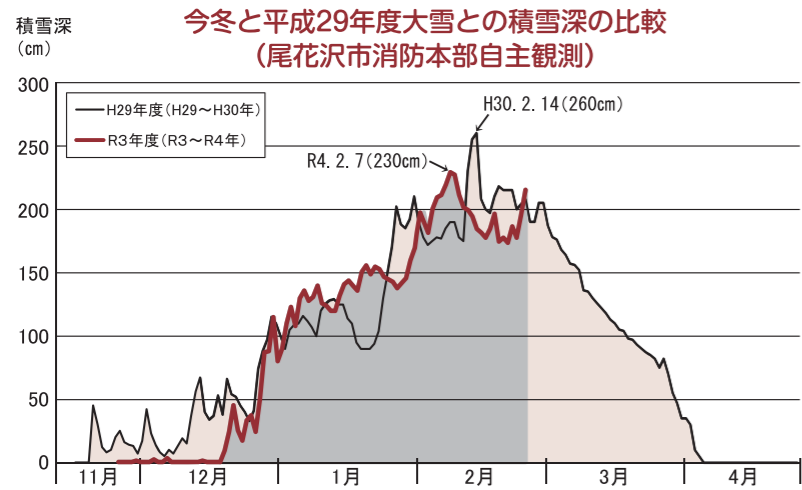
先月中の動き (届出件数)	
出生	5人
死亡	34人
転入	13人
転出	16人
婚姻	3組

### 表紙

#### 市民の心に元気を届けた「雪中花火」

新型コロナウイルスの影響により中止になった雪まつり。こんな時だからこそ市民を花火で元氣付けたいと、「雪中花火」の打ち上げが行われました。「ドーン！」と鳴り響く音、風にあおられながらも澄み渡った夜空に煌めく大輪の華。約30分の間に長根山から次々と打ちあがる色とりどりの花火は、市内各所で夜空を見上げる人々に、晴れやかな気持ちを届けてくれました。

(2月26日 市役所屋上から撮影)



**今年も降った！**  
**今冬の豪雪の記録**

12月18日から降り始めた雪は、年末年始の大雪で一気に積もり、5地区平均積雪が1月18日に154cmに達したため、豪雪対策本部が設置されました。その後雪は断続的に降り続き、2月7日には237cmの積雪を記録。晴天が続く日もあったものの、降り出すと止まず一気に積もった今シーズン。除雪や屋根の雪下ろし中の事故や、倒木による停電の発生など、雪による被害も相次ぎました。

各地区の最大積雪深と累積降雪量(令和4年2月24日時点データより)

尾花沢地区	最大積雪深	累積降雪量	各地区観測地点	最大積雪深	累積降雪量
アメダス	206cm (R4. 2. 7)	712cm	福原(野黒沢)	220cm (R4. 2. 8)	957cm
消防署観測地点	230cm (R4. 2. 7)		宮沢(押切)	250cm (R4. 2. 7~8)	783cm
5地区平均 (消防署観測地点・福原・宮沢・玉野・常盤)	237cm	905cm	玉野(鶴巻田)	223cm (R4. 2. 8)	878cm
			常盤(三日町)	264cm (R4. 2. 7)	1,196cm

用語解説

- ①積雪深：観測日時点で自然に積もっている雪の高さを計測したもの。気温や風の強さなどによって雪の沈み込みなどがあるため、累積降雪量とは異なります。
- ②累積降雪量：初雪観測日から最終観測日までの降雪量(その日降った雪の量)を合計したもの。

※参考：尾花沢市公式ホームページ「尾花沢市の雪対策情報」<http://www.city.obanazawa.yamagata.jp/1567.html>



▲市役所西側道路を南おーばん方面に向かって歩く小学生。歩道が車道と完全に分断され、雪の回廊になりました。



▲住民と行政とが協働で行った地区内道路の一時除排雪作業(荒楯地区)。



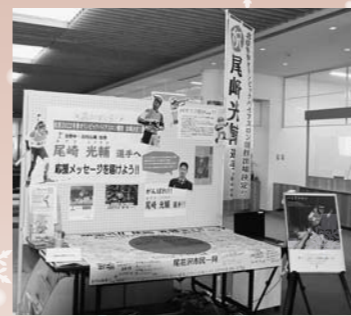
▲空き家の屋根に積もった雪が一旦に落ち、道路をふさいで一時通行不能に。



▲集落で組織された除雪隊により、集落内の除雪を助け合う地域除雪活動も行われました(名木沢)。



▲2m以上にもなる道路脇の雪壁。排雪作業を何度も行い、通行の安全を確保。



▲市役所1階に設置されたメッセージコーナー。市民の皆さんからたくさんの方の応援メッセージをいただきました。応援旗は尾崎選手のご家族を通して尾崎選手に届けています。



▲尾崎選手の出身校である玉野小学校は、ビデオメッセージで尾崎選手を激励!

**尾崎光輔選手**  
**北京オリンピック出場結果**  
【バイアスロン】

- ・ミックスリレー(男女混合) 18位
- ・男子20km 82位
- ・男子10kmスプリント 44位
- ・男子12.5km追い抜き 51位

※世界の強豪選手を相手に力の限り走り、撃ち、最後まで諦めずに過酷な競技に挑む姿に、心を打たれました。クロスカントリースキーを頑張る小・中・高校生たちにも希望を与えてくれた尾崎選手。夢と感動をありがとう!



▲北京オリンピックのバイアスロン競技に出場し、ライフルを背負って疾走する尾崎選手。(写真提供：自衛隊体育学校)

北京2022冬季オリンピック出場  
おねえさんすけ  
尾崎光輔選手(鶴巻田出身)  
激励会開催。結果報告

北京冬季オリンピックのバイアスロン競技に出場が決まった尾崎光輔選手を応援しようとして、2月1日に市役所で激励会が開催されました。会場には尾崎選手のご両親のほか、尾崎選手が所属していた玉野スキースポーツ少年団や出身校の先生など、関係者約30人が参集。ご両親に激励金や応援旗を贈呈しました。また、玉野小学校と北村山高校の皆さんによる応援メッセージビデオを上映。さらに、既に北京入りしている尾崎選手本人から届いたビデオメッセージが映し出されると、会場からどよめきと「頑張れ!」の声があがり、尾花沢から誕生したオリンピック選手に熱いエールが送られました。

# 「尾花沢市小中学校のあり方に関する

# 基本方針」決定

市の基本方針(案)について、各地区の検討委員会で協議を行い、その報告内容と教育委員会および総合教育会議での意見を踏まえ、市の基本方針を決定しましたので、報告します。

## 4. 統合を進めるにあたって配慮すること

各地区検討委員会からは、統合することに対する保護者の不安や、地域としての要望が出されていますので、下記のこと特に配慮しながら統合を進めていきます。

配慮する事項	内容
児童・生徒等への配慮	子どもたちが新しい学校生活にスムーズに移行できるよう、教職員の配置はもとより、事前に学校間の交流活動等を計画的に行うなど、児童生徒の心身の負担軽減に向けた取り組みを講じます。あわせて、保護者間の交流活動にも取り組みます。
通学への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徒歩通学…夏場だけでなく、降雪期の状況も踏まえ、徒歩通学者の安全な通学路の確保に努めます。</li> <li>・遠距離通学…スクールバスを運行し、安全・安心で、短時間で通学時間となるよう、運行経路を検討します。</li> </ul>
地域への配慮	これまで培われてきた伝統や歴史、地域とのかかわりを絶やさないよう、ふるさと学習をより一層推進しながら、地域の方々との交流を継続し、地域と共に歩む学校創りに取り組みます。
放課後児童クラブ	児童が安全に、安心して活動できることを第一に、子どもたちの多様なニーズに対応できるように環境整備を図るとともに、利用者の利便性を考慮します。
閉校した学校施設の活用	学校が防災拠点や地域コミュニティの中心的な役割を担ってきたことに留意しつつ、地域活性化につながるような利活用を、地域の方々と一緒に検討します。

## 5. 小学校統合の今後の推進計画（令和4年度以降）

年度	統合に向けての準備・進め方	小学校建設の準備・進め方
令和4年度	統合に向けての課題整理と検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校建設に係る検討委員会設置</li> <li>・統合小学校・統合中学校の基本構想策定</li> <li>・学校建設場所の決定</li> </ul>
令和5年度	↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合小学校基本計画策定</li> <li>・基本設計</li> </ul>
令和6年度		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計</li> <li>・造成工事</li> </ul>
令和7年度	統合準備委員会開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校連携部会</li> <li>・PTA連携部会</li> <li>・地域連携部会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校建設工事</li> </ul>
令和8年度	↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校建設工事（令和7年度に引き続き）</li> <li>・外構工事</li> </ul>
令和9年度		統合 統合小学校開校

※中学校の統合準備等の推進計画については、統合年度が決まり次第策定し、準備を進めていきます。

今後、基本方針に基づき児童生徒のより良い教育環境の整備と教育の質の充実を図ってまいります。

◆こども教育課 Tel (22) 1111【内線331】 ※市公式ホームページで詳しい内容を公開しています。

## 1. 今年度の検討経過

- 4月：総合教育会議を開催し、「尾花沢市小中学校のあり方に関する基本方針(案)」を決定。市報おばなざわ5月15日号に内容を掲載。
- 6月：各地区で、基本方針(案)の説明会を開催。
- 7月：各地区で検討委員会を立ち上げ、基本方針(案)について協議。  
↳ 12月に各地区検討委員会から教育委員会へ、協議結果の報告が出されました。
- 12月：総合教育会議を開催。各地区検討委員会から受け取った報告について説明。
- 2月：総合教育会議を開催し、「尾花沢市小中学校のあり方に関する基本方針」を決定。



## 2. 各地区検討委員会からの報告内容

- ①小学校の統合 → 全地区より了承。
- ②中学校の統合 → 福原地区より了承。ただし、統合年度については、令和9年度の統合を求める意見が報告されました。
- ③市内小中学校の形態、学校給食、学校プール、特色ある教育 → 全地区より了承。

## 3. 基本方針（将来の小中学校のあり方について）

- ①市内小学校の統合について  
令和9年度の開校を目指し、新たな統合小学校を建設し、市内小学校を1校に統合します。
- ②市内中学校の統合について  
  - ・福原中学校を、尾花沢中学校に統合します。
  - ・統合年度については、福原地区の意向を踏まえつつも、地区の動向や教育環境の変化を考慮して見極め、総合教育会議で判断していくこととします。
 ※基本方針(案)で令和5年度としていた統合年度は、福原地区より令和9年度を求める報告が出されました。総合教育会議では、全教科への専門教諭の配置や部活動の課題等、生徒に与える影響を心配する声が出ています。今後は、より良い教育環境を考慮しながら柔軟に判断していきます。  
 ※校舎については、当面、現在の尾花沢中学校校舎を使用します。将来的には、市の財政状況を踏まえ、統合小学校に隣接する形で新たな校舎を整備します。
- ③市内小中学校の形態について  
  - ・小学校と中学校を別々に設置した「小中連携型」とします。
  - ・経営方針は、教育課程の要所において9年間を見通したものを、小・中学校それぞれで定めていきます。
 ※小中学校が併設される時期になったら、その時点で再度、学校教育の今後の動向を踏まえながら、将来的な学校形態を検討します。
- ④学校給食について  
統合小学校での給食提供については、中学校も含めた全体の給食提供のあり方について検討を進め、その中で自校給食の実施について検討していきます。
- ⑤学校プールについて  
統合した小学校に、25m規模のプールを整備します。また、低学年から幼児まで使える、補助プールの併設を検討します。
- ⑥特色ある教育について  
学校統合を考える時、新たな学校における特色ある教育を進めていきます。
  - ・地域と共に歩む学校を創ります。(ふるさと愛の育成、地元企業との連携等)
  - ・ICT教育機器を積極的に活用し、情報活用能力を育む教育を展開します。
  - ・英語力の向上に力を入れ、豊かな国際感覚を育む教育を展開します。